



議会だより

第6号

みなべ

平成18年5月1日

発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002 和歌山県みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335



島ノ瀬ダムと新入生の集団下校（高城小）

3月定例会

89億9,500万円の一般会計予算……………P2・3

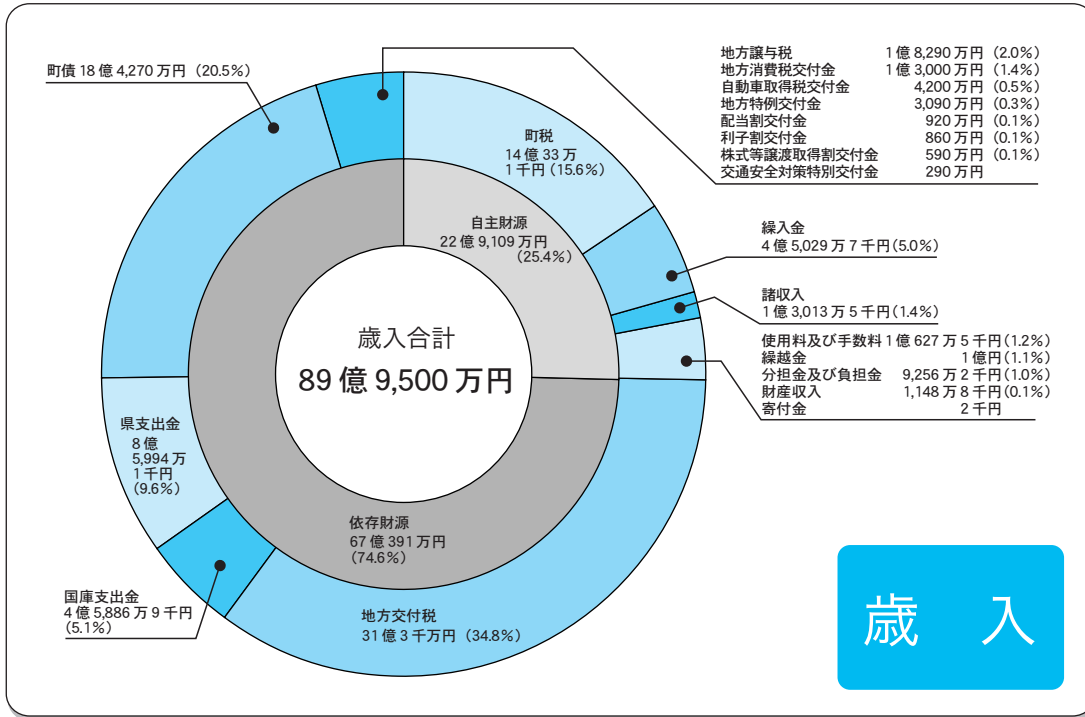
条例・予算について活発な審議……………P4・5

一般質問（8名が登壇）……………P6～13

「ふくいくの園」の充実を求める意見書採択…P15

一般会計予算

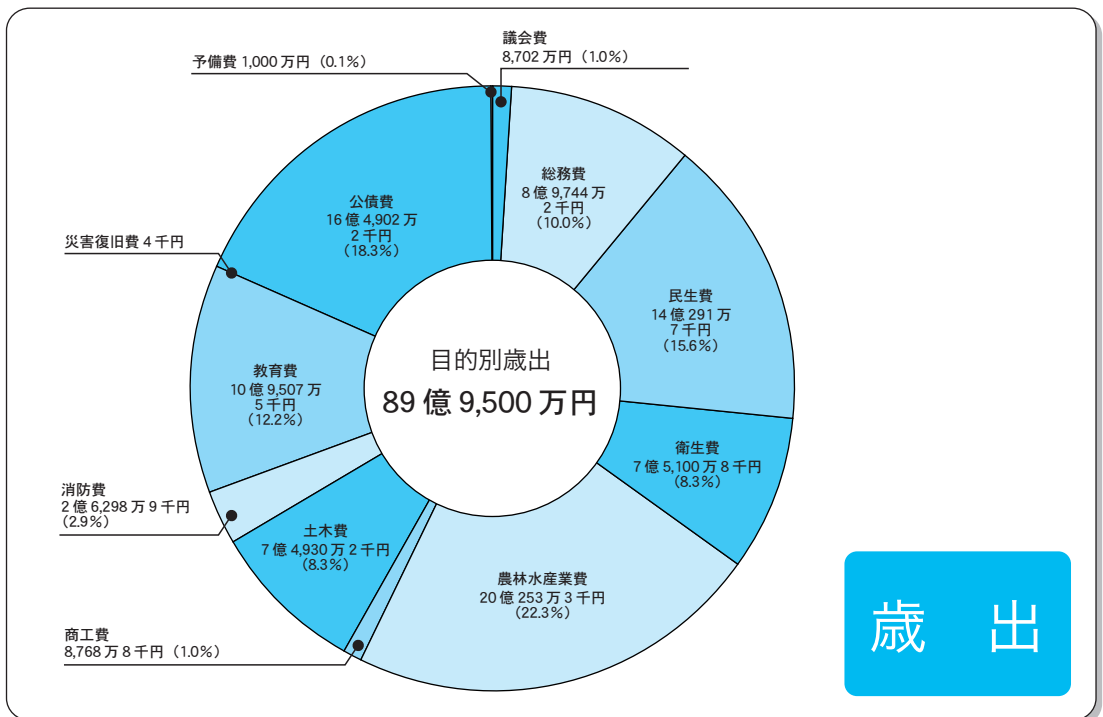
89億9,500万円



平成18年第1回定例町議会で、承認案3件、認定案14件、一般会計及び特別会計予算案など合計32件が上程されました。

今年度に着工する南部小学校の改築の件始め、議案は慎重審議の結果、認定、可決されました。

歳入



歳出

平成17年度当初予算との比較では、一般会計で約7億5千万円増加し、特別会計の内、国民健康保険事業で約7千万円、老人保健で約

9千万円増となり、介護保険では約1億、農業集落排水で約1億3千万円の減少で、合計では約6億7千万円の増加となりました。

□ 平成 18 年度みなべ町予算 □

会 計 名	平成 18 年度	前 年 比	
一 般 会 計	89 億 9,500 万円	7 億 4,500 万円	
特 別 会 計	国民健康保険事業	16 億 3,052 万円	7,128 万 9 千円
	老 人 保 健	12 億 3,747 万 6 千円	8,605 万 6 千円
	介 護 保 険	9 億 3,066 万 6 千円	▲ 1 億 83 万 4 千円
	住宅新築資金貸付事業	1,072 万 4 千円	▲ 525 万 4 千円
	鶴 の 湯	5,739 万 4 千円	▲ 855 万 9 千円
	農業集落排水事業	2 億 5,852 万 6 千円	▲ 1 億 2,779 万 6 千円
	公 共 下 水 事 業	6 億 141 万 2 千円	1,144 万 3 千円
	簡 易 水 道 事 業	9,403 万 9 千円	337 万 4 千円
	小 計	48 億 2,705 万 7 千円	▲ 7,028 万 1 千円
	水道事業(収益的支出)	1 億 4,013 万 4 千円	▲ 41 万 4 千円
合 計	139 億 6,219 万 1 千円	6 億 7,430 万 5 千円	

近隣市町村の 改定介護保険料(用) 基準額(4月～)

み な べ 町	3,600
旧 田 辺 市	5,370
旧 大 塔 村	5,599
旧 中 辺 路 町	4,833
旧 本 宮 町	4,481
旧 龍 神 村	4,585
白 浜 町	5,842
上 富 田 町	4,442
す さ み 町	4,450
印 南 町	3,300

一般会計歳出の主要項目予算額

□ 議会費…………… 8,702 万円	□ 土木費…………… 7 億 4,930 万円
□ 総務費…………… 8 億 9,744 万円	○ 道 路 橋 梁 費… 5 億 2,063 万円
○ 総 務 管 理 費… 7 億 5,826 万円	○ 河 川 費…………… 907 万円
○ 徴 税 費…………… 9,391 万円	○ 都 市 計 画 費… 2 億 1,448 万円
○ 戸籍住民基本台帳費…………… 4,321 万円	○ 住 宅 費…………… 512 万円
□ 民生費…………… 14 億 292 万円	□ 消防費…………… 2 億 6,299 万円
○ 社 会 福 祉 費… 9 億 1,351 万円	□ 教育費…………… 10 億 9,508 万円
○ 児 童 福 祉 費… 4 億 8,940 万円	○ 教 育 総 務 費…………… 8,750 万円
□ 衛生費…………… 7 億 5,101 万円	○ 小 学 校 費… 6 億 4,898 万円
○ 保 健 衛 生 費… 5 億 6,951 万円	○ 中 学 校 費…………… 6,785 万円
○ 清 掃 費… 1 億 7,101 万円	○ 幼 稚 園 費…………… 4,323 万円
○ 水 道 費…………… 1,049 万円	○ 社 会 教 育 費… 1 億 8,337 万円
□ 農林水産業費…………… 20 億 253 万円	○ 保 健 体 育 費…………… 6,096 万円
○ 農 業 費… 16 億 2,825 万円	○ 学 童 保 育 費…………… 319 万円
○ 林 業 費… 1 億 7,131 万円	□ 災害復旧費…………… 4 千円
○ 水 産 業 費…………… 2 億 297 万円	□ 公債費…………… 16 億 4,902 万円
□ 商工費…………… 8,769 万円	□ 予備費…………… 1,000 万円

条例・予算について 活発な質疑が



建て替えられる校舎（南部小）

条例、予算の審議は27日から29日まで本会議で行われました。特に一般会計予算について活発な質疑がありました。その主なものを報告します。

Q 南小建築で2階、3階の便所の位置や利用しやすい工夫はどのようにして決められたのか

A 子供がトイレを使えないという状態はトイレに入るところを見られたくないというのが一番の原因のようです。先生方や保護者の意見も充分聞き、位置等検討して決定をしました。

適正な人員配置

Q 電話交換等の業務派遣委託料が出ていますが、適正な職員配置をされているのか。

A 公務員の削減の計画もあるなかで19年度町の組織改革も考え、見直しをしていきます。

地方税回収機構

Q 負担金で町は何件出しているのか。
また、駆け込みの成果はあったのか。

A 高額の滞納者に移管最終催告書を送付しています。その件数が84件あり、分納の相談が55件ありました。回収機構には20件を予定しています。

紀南病院に関して

Q 当病院の累積赤字についてはどのように考えているのか。

A 紀南病院の経営面については施設、器具等が新しくなれば患者が増え、健全経営の方向に進むと説明を受けています。しかし、運営改善に正念を入れないといけないと思っています。

Q 花卉団地の修繕の仕方とその施設の今後の利用計画は。

A 修繕の内容は簡易なものであり、大被害の場合は利用者の保険を使って



上南部保育所

まかれません。今後の利用計画は老朽化もしており、整備や使用料も含め考えて行きます。

保育所に関して

Q 保育所の正職員と臨時職員は、職務内容について同じであるが、待遇はどうなっているのか。

A 保育所の臨時職員の待遇については町の臨時職員と同様です。日当が7千200円で報償費(期末手当)が年間40日分それ以外に社会保険、厚生年金にも加入しています。



第二南部大橋（架設予定場所）

Q 第二南部大橋（町道新殿開南部川線道路）と国道42号のつなぎは。

A 国道42号の橋についてはかなり年数が経ちます。新しい橋については国費50%で、町負担は残り50%の内、95%が合併特例債、その7割が返えつて来ます。将来的に国道42号と接続できるように、今後進めてまいります。

Q ごみ処理場の煙突修繕は、炉の修繕時になぜ出来なかったのか。

A 前年度、炉の修繕時には損傷はみられなかったのですが、集塵機を新設するにあたり、煙突との連結部分の厚さ12ミリ必要なところが5ミリ位に減耗していました。ごみ受け入れ再開の時期が迫っていたということもあり、同時に施工できなかったのです。

Q 町の広報紙など、全戸に配布すべき資料は行き渡っているのか。

A すべて配付されていると思っておりますが、届いていない事態があり、各区長さん方に全世帯に配付されるようお願いしました。

Q 二子の里を利用されている方は、殆ど毎日同じ顔ぶれであり、温泉の利用料くらいは個人負担してもらえないか。

A 合併協議の中でも話が出されていましたが、今後の事業とも、つり合いのとれるような形で有料化するべきであるとなれば、そのように考えていきたいと思っております。



老人憩いの家「二子の里」

Q 除細動機をどこに設置するのか、また今後どのような取り組みをしていくのか。

A 一台をリースで導入して「ふれあいセンター」に設置します。消防署と連携をとりながら講習会を実施していきたいと思っております。

水道事業特別会計

Q 猪の山の東部配水地への送配水管の改修予算について、どこを改修するのか。

A 今の送配水管のコーンを変えて、猪の山観音の方を回って付け替えます。3年計画で事業を実施し、総費用は約1億円と見込んでいます。



東部配水地のタンク

指定管理者制度とは

公の施設の運営管理について、これまでは委託制度で行ってききましたが、この度、地方自治法が改正され、指定管理者制度で行われるようになりました。そこで、今議会では、「ひかり保育所」、「ゆうゆう館」、「備長炭振興館」、「国民宿舎」の四施設について、設置条例を改正し、指定管理者制度に移行しました。この制度では、民間事業者も指定することができるようになっていますが、今回はこれまでの委託先を指定するという事です。

町民広場(多目的広場)に 仮設トイレの設置を



宮崎常二 議員

一般質問

一般質問は3月14日に8人の議員が行いました。

(質問者から提出された原稿どおり掲載しています)



町民広場

質問 仮設トイレの設置について質問をいたします。

過去、教育委員会に要望や、お願いをしてきたが、取り合ってくれないので、再度町長に仮設トイレの設置について質問をいたします。

町民の要望に応えるため、どうかトイレの設置をお願いしたい。

町長 質問にお答えします。

県の河川管理のこともありますので、それらを踏まえて取り組んでまいります。必要性というのは、充分認識しておりますので、そのように対応していきたいと思っております。



簡易トイレ



園出俊明 議員

「梅の日」制定に関して

質問

先日、ある「みなべファン」の方から、青梅マラソンにちなんで「あおつめマラソン」を梅の花の咲くころに実施されてはと提案されました。全国の方との交流、ニューズ性をにらんでのご提案だと思えます。『みなべブランド』に対して、いろんな方が心配してくれている象徴的な出会いでした。

今、梅屋さんたちが古文書を紐解いて、熊野古道も視野に入れて『梅の日』制定に向けて、熱心に活動されております。今までと違う切り口で、文化や歴史のにおいがします。「売らんかな」という気持ちよりも、感謝の気持ちから入っています。梅を生業とする『みなべ町』としては、深く積極的にいかかわるべきだと考えますが。



内中源藏翁供養祭

町長

『梅の日』制定に關しては、紀州梅の会臨時総会で報告を聞かせていただき、みなべ梅干組合の役員の方々が町長室にて、積極的な取り組みをしたいという熱意をご披露してくれました。趣旨、根拠、必要性は同感でして、実現に向けては紀州梅産地全体の賛同が必要だという意見の一致をみております。

私が力強く思うのは、梅加工业のみなべ、田辺の両組合の皆さんが立ち上がってくれたことです。今まで個別でやられていたスタイルとは違い、両方の組合がござって消費拡大に本腰を入れてくれていふことを、有難く思い、行政としても出来るだけ支援、応援をしていきたいと思っております。

旧南部川村のときも、『みなべ梅江戸送り200年記念、ありがとう梅フェスティバル』という企画のときに、2月11日を梅の日制定した経緯があります。新町としては皆無の状態です。6月6日の根拠は深いものがあり、斬新的なアイデアも含まれており、非常に歓迎すべき事で、ご質問の趣旨に沿い、取り組んでまいりたいと考えます。

ふるさと林道 緊急整備事業



下村 勤 議員

凍結と言われたが

質問

林道東神野川―市井川間の新設工事で、現在島之瀬間が工事中である。町長は、18年度第1回定例会の施政方針で、市井川までの区間については、一時凍結をすると報告された。

当初この林道計画は、山間奥地の重要な路線であり、産業や文化の振興と生活道路として、また緊急災害時など必要不可欠である。

町の財政状況については一定の理解も出来るが、当初計画通りの火を消さないでほしい。



現在工事中の林道

町長

ふるさと林道事業は、バブル経済華やかな頃に始められた事業でありました。旧村当時、村内の環状道路構想の一つとして、東神野川―市井川線を計画し着工をしたものでありました。

当初は補助事業としてやるつもりでありましたが、なかなか難しく全く単独事業としてやってきました。その後、苦肉の策として辺地債事業に切り替えて実施してきましたが、18年度からこの枠が大幅に減少される事になりました。

現在の財政事情から見ても、一般財源を投入するこ

とは大変きびしく、ひとまず島之瀬の大久保谷までとし、市井川間については補助事業導入の方向で、進めていきたいと思っております。

駅前広場の整備

駐車場の設置

質問

県が進められているJR南部駅前広場の整備事業も、スリム化されつつある。しかし、電車を利用する際、特にお年寄りや体の不自由な人を送迎する時など、一時駐車しておく場所がない。現在、進められている事業と並行して駅前北側の町有地の整備と有料駐車場の設置は出来ないか。

町長

町有地の面積は812平方メートルあります。その内で、代替地用地として196平方メートルあり、その土地が駅寄りにあります。また、駐輪場が550平方メートルあって、これはどうしても設けなければなりませんので、車の置けるスペースは取れないということになります。駅前の駐車場の必要性というのは、私も同じ考えを持っています。

今後の宿題として考えていくつもりでございます。



整備中の駅前広場



岡 和雄 議員

防災対策について

児童福祉施設における災害時の安全確保



愛の園保育園

質問

一昨年の台風23号は、自然災害の怖さや防災の重要性を再確認させられたところでもあります。その中でも、特に愛の園保育園は、地形的にも海岸に隣接し、高波に直撃されるという被害を受けました。当日は休園となっており、子供達に被害はなく幸いでしたが、万が一地震や台風に襲われることを想定しますと、身が引き締まる思いであります。そこで質問ですが、町内の児童福祉施設等における災害時の避難

ルート等、安全は確保されているのか。特に、地形的に危険な愛の園保育園について具体的な答弁をいただきたい。また、色々な場面を想定し、先取りした安全管理計画等、ソフト面、ハード面を考慮したマニュアルを作っているのかどうか。幼い子供達の防災対策というのは将来的に少子化対策にも繋がると思われることから、今後、町としてどのような方向付けで展開していくのか伺いたい。

町長

昨年、私が旧町内を視察した際に、愛の園保育園の状況は充分確認しています。窪地であるので、他では考えられないような問題があり、越波対策だけをやらなければならないのではなく、流れ込む水の排水対策など、これからの防災計画と地域の改良計画などを合わせ取り組んでまいります。

また、避難ルートなどマニュアル化については、町内全施設において防災計画を立てており、愛の園保育園だけの具体的計画というのは、それらも一連の対策の中に入れての防災対策としておりますのでご理解いただきたいと思っております。

最後に、町全体の防災につきましてでは、基本的には四分割に分けて考えており、海の部分、市街地、平野、山間地とそれぞれ状態が違いますので、その地域に合った防災計画、防災対策との方向で進めております。その中でも差し当たりは海岸線の心配をしており、いずれにしても海岸線の津波対策というのがまず第一だと考えております。



みなべ平野

質問

防災問題については各課が連携を密にし、町全体の責任として最善の方法でお願いしたい。

町長

もちろん仰せのとおり全課、室、委員会一丸となって取り組んでまいります。

改良住宅(四階)の 建て替えは



山中邦夫 議員

質問

改良住宅(四階)は、昭和45年と47年に16戸ずつ、2回に分けて建てられました。この住宅は建てられた時から地域になじまない住宅でした。

それでも、この住宅は一定の歴史的役割を果たしたのです。しかし、今では旧地区を象徴する建物になっていません。その意味でも一日も早く建て替えるべき住宅です。

耐震診断の結果は

建てられてから34年、36年と経過していますし、本格的な改修もしていませんので、階段部分などにヒビが入っています。

そこで、まず耐震診断をされているのかどうか。その結果はどうなっていますか。

町長

耐震診断はすでに終わっています。結果は構造耐力指数は0.36となっていて、震度7以上の地震で倒壊しない耐力指数は0.7程度必要とされています。それで、この住宅はもう建て替えをしなければならぬ事態に至っていると認識しています。



建て替えが必要な改良住宅

四階建はいらない

質問

次に、あの規模程度の住宅がどうし

ても必要だと思っています。しかし、「四階建てはもういらない」と思っています。用地問題もありますが、「二階建て位かな」と思っています。

町長

現地での建て替えか、他へ移転してかの概略検討に入っています。現在の敷地は1600平方メートルで狭いので、適地を求めて移転、建て替えが必要と考えております。

その場合、入居されている方々のことを考え、支障をきたさない所を求める必要があると思っています。

町の財政状況と 財政計画は

町の一般会計予算の歳入で町税が6千826万円の減、地方交付税が7千万円の減になっていることについて、予算額が89億9千500万円と大きくなっていることから、今後の財政計画が必要ではないかという二点についても質問しました。



寺本三直 議員

少子化対策について

延長保育

質問 次世代育成支援行動計画が策定され実施されています。これは安心して子供を産み育てることが出来る町、子供をみんな育てるあたがたい町づくりであります。特に保育所とか幼稚園児を養育されている若いお父さんや、お母さん方は少子化をくい止める大きな力を握っています。

そこで、保育時間を超えて保育する、いわゆる延長保育について保育時間が11時間を超えない範囲での保育サービスは随時実施されていますとありますが、その実態はどうですか。

町民課長 南部保育所の延長保育については平日は午前7時40分から午後5時まで、土曜日は12時20分までとなっています。時間外保育につきましては、平日は行っておりませんが、保護者の申し出がございましたら対応しております。

土曜日は事前に申し出をいただいた児童について午後5時20分まで保育を行っています。この対象は保護者が土曜日の午後勤務などのため家

庭で保育できない児童となっています。利用者は平均10人程度です。

上南部保育所での保育時間は平日は南部と同じで、土曜日は12時30分となっています。

延長保育は平日、土曜日とも行っておりませんが、保護者の方の申し出により平日は午後5時15分頃までに迎えに来て下さいとの事で対応をしています。

質問 11時間を超えない範囲で延長保育するとなっていますので、もう



保育風景

少し幅をひろげていただきたい。

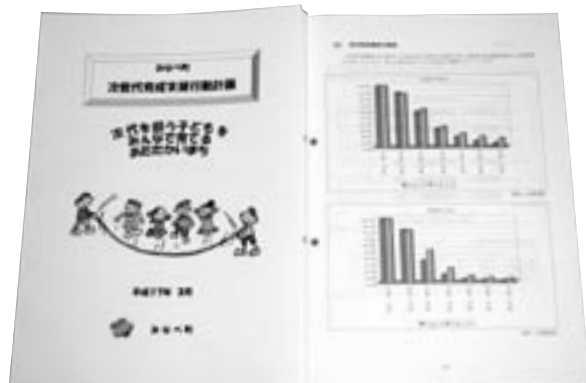
町民課長 上南部保育所の保育時間ですが、平日は午後5時まで申し出をいただければ、約半時間程度対応できるような新に整えるようにします。

また保護者会や保護者の方と相談しながら、保育所運営を行っていますので、今後地域の実情に合った保育体制が整えられるよう努力して参ります。

託児所サービス

質問 町として、託児サービスはできないか。

町民課長 一時保育事業は私立の愛の園保育園に委託して、実施できるように体制を整えています。町が運営する託児サービスはいろんな点で難しいと思います。



南道交差点信号の待ち時間



田中昭彦 議員



南道交差点信号

質問

国道424号南道交差点信号は、高速道路開通に伴い、待時間が大幅に変更され、当初は2分30秒でしたが、現在でも1分50秒である。

これは国道42号の信号と比べても、約30秒長く、又周辺の信号は、ほとんどが感知式であるため、約10秒から1分で変わることから非常に長く感じられる。

その結果、運転している車輦中には、信号待停止位置を避け、横の駐車場迂回し、別な場所から国道へ出ることもある。又、歩行者や自転車の人にも、信号を無視する人も見受けられるとのこと。更には、待時間が長いので、

車で旧商店街への買い物控えるお客さんもいると聞いています。

事故防止や、買物客の不便さを考えて、信号の待時間短縮に善処して頂きたい。

町長

お話を聞いて、本当に長いと感じます。利用者の不便を解消するために、実態に合うよう、関係当局に要望していきます。

要望

今国会に『まちづくり三法改正案』が提出されています。市街地活性化法案等であり、この信号の件も含め、充分配慮された行政執行を要望するものであります。

子供の緊急避難場所『きしゅう君の家』

質問

子供の痛ましい事件が、田舎・都会にかかわらず発生しています。子供の安全確保のための、『きしゅう君の家』の現況を教えてください。

質問

マークが変色したり、見にくい場所に貼っている家も見受けられ、子供を守ることには、保護者だけでなく、地域ぐるみで取り組む必要があると思いますが。

教育長

現在町内に合計238戸があり、地域の皆さんのご尽力、お力添えを得て、子供達を守って頂いています。しかし各家で色々な事情があり、年度毎に再点検をして、対応していきたいと思っております。

教育長

タクシー業界や、郵便局の人達の協力も頂いており、出来るだけ見易い場所に貼って頂き、地域の皆様にも尚一層ご協力をお願いしていきたいと思っております。





中家克己 議員

「まちづくりフォーラム」を 作ってはどうか

質問

確定申告の時期だが、消費税1千万以上課税、定率減税、老年者控除の廃止などで税金が高くなる。

医療費、介護保険、自立支援法などもすべて町民の負担が増えるばかりです。小泉内閣は三位一体などというけれど、地方に負担を押しつけるばかりで地方への財源配分は何年たっても計画すら見えて来ません。そればかりか合併

した市町村にも、しない自治体にも地方交付金や色々な補助金の減額などで各地方自治体を苦しめるばかりです。

梅がピンチ、漁業も不振だったと聞く。商店街もスパーなどの進出と不況で非常に苦勞をしておられる。こんなにみんな大変な時にこそ、できるだけ多くの町民に国や政府のやり方、みなへ町がやろうとしていること、考え方などを知ってもらって多くの



みなべ平野

皆さんの、みなべの町づくりについての知恵や力を出してもらうことが必要ではなからうか。すでに町は区長会をはじめ青年・婦人、農林業、商工業、漁業など各団体から町民の意見を聞きながら町民の期待に応えるまちづくりに取り組む努力をされているが、それは続けながら各団体を含む更に関心のある多くの町民の声を聞き、お互いに理解を深め合って力強い町づくりになると考えるがどうか。

町長

ご提言に対しまして見解を申し上げます。合併新町の課題は本来に多種多様にわっておりまして町民のご期待と町財政と



梅の新聞記事

の関係の間でシレンマに陥ることも度々ございます。町民みなで考えてもらうことは大変いいことだと思います。ご存じのとおり町内には各種団体、運営協議会とか審議会だとか諮問機関などたくさん組織がありまして活動していただいております。

「提言」をその機能との関係、整合性がどうなるのか気になったのですがお話を聞いて私の考えていることではないに、さらに大きく全体的にぼりと被せるような趣旨だと思えます。行政主導でいいのか、いまの団体組織が徳劫にならないう宿題として深く考えさせていただきます。

常任委員会・特別委員会の 活動報告

産業建設常任委員会

2月15日、三重県御浜町の梅栽培について視察を実施しました。

昭和50年から平成3年まで、国営の農地開発事業が実施され、梅については御浜町近隣3市町で100区が植栽されており、蜜柑に次ぐ第二の果樹とされています。担当課から一通りの概要説明を受け、意見交換のあと、現地案内をしていただきました。園地条件は、みなべ町に似ており、樹齢もこれらが本格的な収穫という感じでした。

現地の最後に、みなべ町から人植されている方の園地を見学し帰途につきました。御浜町の担当職員の話では、価格、販路、後継者問題等山積しているということでした。



福祉環境常任委員会

2月28日、当委員会は、町内西本庄にある、「梅のひさぎ」を訪問し、アーラフ式の廃液処理システムについて、現場において説明を受けました。

この施設は悪臭の抑制、汚泥の削減、生ごみの消滅など、環境に配慮されており、なにより、低コストで運営されているのが魅力であり、また試行段階であるということでしたが、今後の成果に期待するところです。

このあと、愛の園保育園の避難経路の確認、また壺田地区南紀産業の浄化施設等、道免池の現況について現地に行き、当局から説明を受けました。



総務文教常任委員会

2月21日に郡内3市町の学校給食について視察しました。

御坊市給食センターは、民間委託しており、立派な施設はオール電化で稼働しています。弁当併用ということでも、毎日3千食を調理しています。

美浜、日高両町の給食は、全国でも唯一の民設民営方式で運営され、調理施設は由良町にあり、堺市から御坊市までの間で営業しているということです。

印南小学校は従来から自校方式をとっており、学校改革に併せランチルームも整備しています。各市町の事情に合わせた運営が伺えました。



重症心身障害児者通園事業施設 「ふくいくの園」の充実を求める意見書

和歌山県立南紀福祉センターが行っている重症心身障害児者通園事業施設「ふくいくの園」に、田辺・西牟婁圏域の自治体から多くの障がい児者の方が通っています。自分だけでは活動することも身の周りのことをするのも困難な重度の障がいの方にはなくてはならない施設です。

現在、通園事業の制度はB型施設として運営されています。定員が1日5名にもかわらず、現状は1日平均13名弱が通園されています。現在は、週3日ないし4日利用することができていますが、通園希望者は養護学校生徒の卒業とともに年々増加します。そうなれば、利用日数が減らされることになり障がい者の居場所や外出の機会を奪ってしまう恐れがあります。

また、通園する手段がなく利用したくても利用できない障がい児者もいます。南紀福祉センターには病院が併設されていて、本来ならば「ふくいくの園」は、A型施設として運営することが可能

に造られています。A型施設になれば、一日の利用定員が15名になり、職員の数も増え、全介助が必要な利用者への手厚い介護や安全面が確保でき、また送迎サービスも整い、仕事を持つ保護者や高齢の保護者が利用しやすくなります。そして、医療的ケアも充実し、安心して通園させることが出来るようになります。よって、県においては、「ふくいくの園」をB型施設からA型施設へと充実させるよう、また、自立支援法によって制度が変わってもA型施設レベルのサービスを受ける事が出来るように強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成18年3月29日

和歌山県日高郡みなべ町

議会議長 井上光博

(提出先)

和歌山県知事

最終処分場を視察(三重県) 梅の里まちづくり政策調査特別委員会

2月17日 三重県伊賀市にある三重総合リサイクルセンターを視察しました。

みなべ町から出る焼却灰の最終処分を委託しているこの施設。全行程を回ると車で2時間以上かかる広大な敷地内を移動しながら社員の説明を受けました。

周辺環境に配慮され、特に臭気や物質排出対策、リサイクル製品の製作及び地域活動への参画など、徹底的な安全管理のもと収集運搬から中間処理、また資源の有効活用から最終処分までを通じて社会に貢献されています。

さらに、敷地内にはタマネギ畑もあり、それを地元農家で構成の農事法人が運営し、高齢者雇用など多目的農業を担う重要

な役割を果たしています。現在、当紀南地域で進められている最終処分場の計画に對し有意義な視察となりました。



視察した最終処分場 (三重県)

サークル紹介

「銭太鼓栄クラブ」



発表会

「梅の里山草会」



出展作品の鑑賞

● 発足

平成12年5月
安養寺観音講が母体

● 現在

代表者 岡本 千代
指導者 伊藤 礼子
会員数 10名

● 活動

第2・第4土曜日に練習、秋の文化祭に参加。田辺市・西牟婁郡・日高郡各地の病院・特養で慰問活動を行う。

● 発足

平成4年5月

● 現在

代表者 井口 富雄
高城地区 大畑 英雄
清川地区 津呂 好雄
会員数 16名

● 活動

春のえびね山野草展、秋の菊花展に出展。5月の中央公民館、11月の町文化祭にも参加

● 一言(山草会)

山野草の育成を通して、自然環境の変化に敏感になり、自然の大切さを痛感しています。旧南部町の趣味を持っている方、大歓迎です。

● 一言(銭太鼓)

各慰問先で、珍しいと非常に喜ばれ、活動を通して、逆に活力を与えられる。脳を刺激し、健康にも良く、新人大歓迎。

あしがき

いつまでも寒かった冬が去り、今、桜の花が満開です。いつも議会だよりを御愛読いただきありがとうございます。

3月議会は新年度予算を審議する場ですから、私たちは最も大事な定例会だと思っております。

今年的一般会計予算は89億9千500万円で町長の意気込みが感じられる予算となっています。

是非、お読みいただいで感想など各議員にお寄せ下さい。